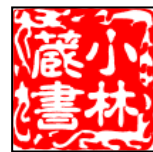




いるか塾 資料No.2024-01-16
2024-01-16 (火)
小林利治



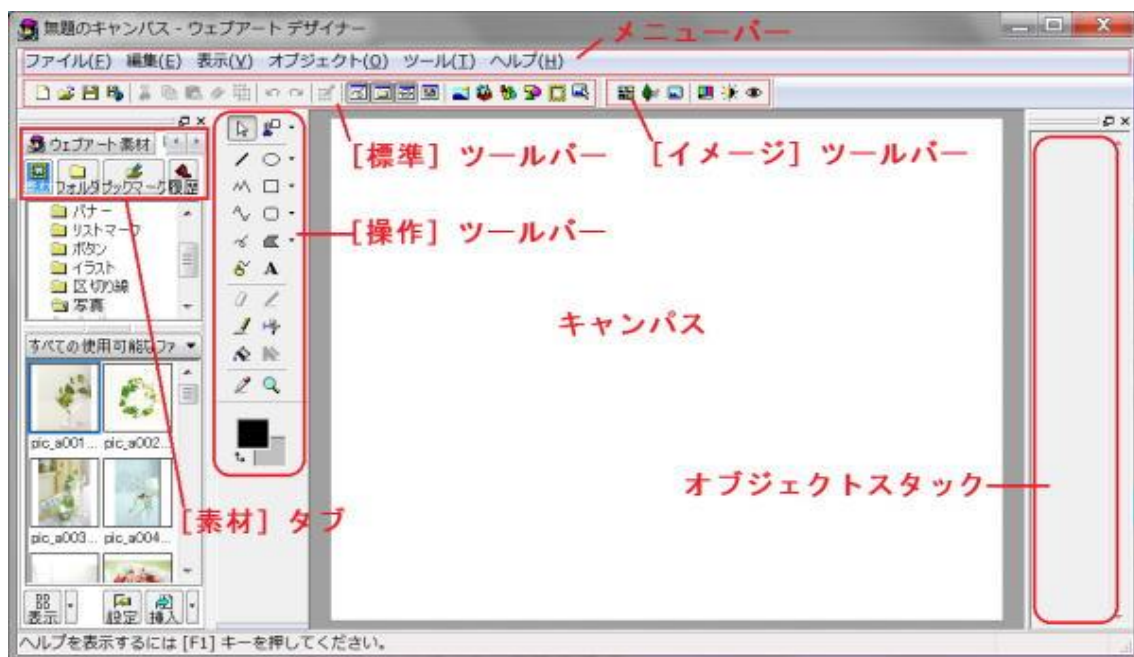
ウェブアートデザイナーの基本的な操作

ウェブアートデザイナーの画面構成

メイン ウィンドウの中央に、何もない白い長方形が表示されます。これが**キャンバス**です。キャンバスは素材を置くための作業領域です。(名称は覚えておこう)

ウェブアートデザイナーの起動

起動するには、ホームページ・ビルダーでメニューの「ツール」 → 「ウェブアートデザイナーの起動」 を選択します。



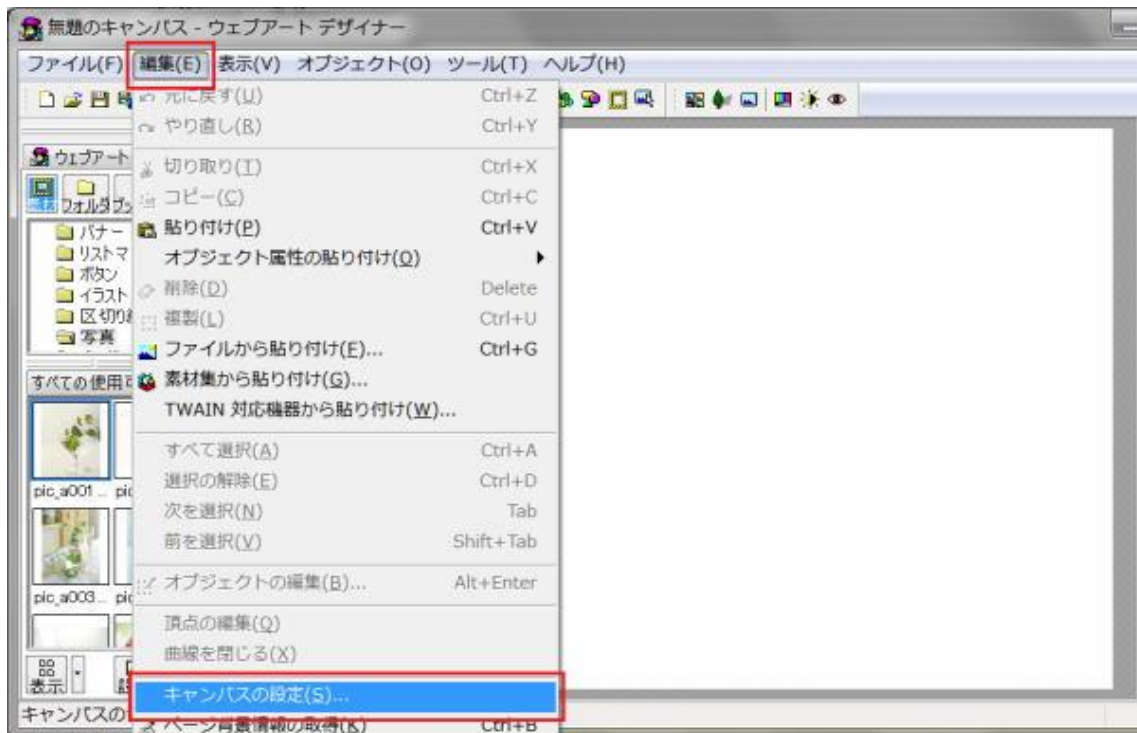
元になる素材のことを**オブジェクト**と呼びます。ウェブアート デザイナーでは、いくつものオブジェクトを重ねて、新しい画像を作ることができます。

オブジェクトスタックには、キャンバスに置かれたオブジェクトのサムネイルが表示されます。キャンバスで最も背面にあるオブジェクトが一番下に、最も前面のものが一番上に表示されます。サムネイルを上下にドラッグ&ドロップすることで上下関係を入れ替えることができます

キャンパスのサイズと背景色を変更する

キャンパスのサイズは、扱うオブジェクトの大きさに応じて変更します。また、キャンパスに背景色を設定すると、オブジェクトを背景色を含めて保存することができる

① メニューの「編集」 → 「キャンパスの設定」 を選択します。



② [キャンパスの設定] ダイアログが表示されるので、[情報] タブをクリックし、幅と高さを指定します。



最適な広さに設定しましょう



- ③ 「色」 タブをクリックし、[一覧] から背景にしたい色を選択します。




- ④ 「OK」 をクリックすると、キャンパスのサイズと背景色が変更されます。

グリッドを表示する

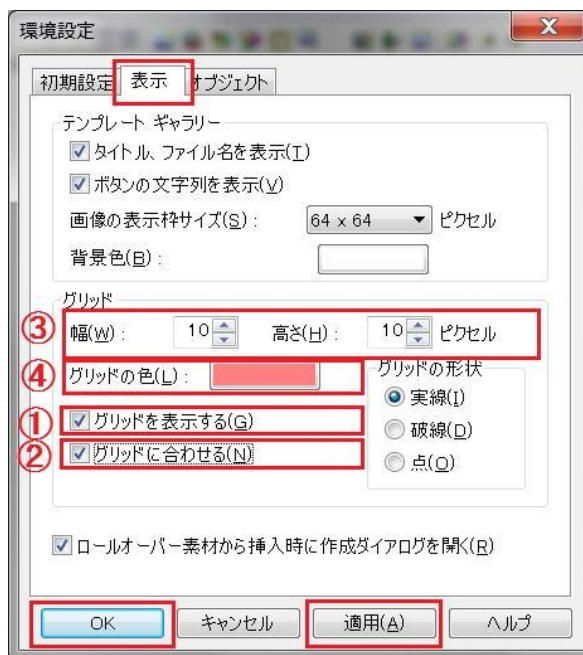
キャンパスに表示される補助線をグリッドと呼びます。これを目安にすると、オブジェクトのサイズや位置を正確に調整することができる。

- ① メニューの「ファイル」 → [環境設定] で [環境設定] ダイアログを表示し、「表示」 タブを選択します。「グリッドを表示する」にチェックを入れます。

 **ヒント**

グリッドを非表示にする

グリッドを非表示にするには、再度①を実行します。



文字を入力する

- ① [文字] ツールをクリックします。
- ② キャンパスをクリックして文字を入力したら、文字以外の部分をクリックします。
- ② 入力した文字の書式を変更するには、ダブルクリックします。
- ④ [ロゴの編集] ダイアログが表示されるので、任意タブをクリックして書式を設定したらダイアログを閉じます。

ウィザードから文字を入力するには、ツールバーの [ロゴの作成] ボタンをクリックします。

ロゴの作成ボタン

日本語文字を縦書きにするには、文字を入力した後にダブルクリックして [ロゴの編集] ダイアログを表示し、「文字」 タブの [フォント名] から、先頭に [@] が付いているフォントを選び、さらに [方向] の [縦書き] にチェックを入れます。



ウェブアート デザイナーの保存方法の違いについて

ウェブアート デザイナーで編集したオブジェクトを保存する方法は、大きく分けて2種類あります。

1 つは再度編集することができるファイル形式 (*.mif) で保存する方法、もう 1 つは画像ファイル形式 (「*.gif」、「*.jpg」、「*.png」) として保存する方法です。

オブジェクトを編集可能な形 (mif ファイル) で保存する

オブジェクトをウェブアート デザイナーで編集可能な形式のまま保存する方法です。ファイルはウェブアート ファイル (*.mif) として保存され、いつでも別のオブジェクトを作るための素材として再利用できます。

*.mif ファイルはページ表示には必要ありません



ホームページ上でページを表示するときには*.gif、*.jpg、*.png などの画像ファイル形式が必要で、ウェブアート ファイル (*.mif) 形式で保存したファイルは、ホームページ上でページを表示するときには必要ありません。サイト転送の時の転送対象ファイルからは外されます。



ウェブアート デザイナーの保存方法の違いについて

ウェブアート デザイナーで編集したオブジェクトを保存する方法は、大きく分けて2種類あります。

- ① 1 つは再度編集することができるファイル形式 (*.mif) で保存する方法、フ
- ② ファイル形式 (*.mif)



canvas.mif

- ③ もう 1 つは画像ファイル形式 (「*.gif」、「*.jpg」、「*.png」) として保存する方法です。ファイル形式 (「*.gif」、「*.jpg」、「*.png」) として保存 ホームページ上でページを表示 ワード Excel などに使用できる



画像を回転させる- 1

ホームページビルダーV12

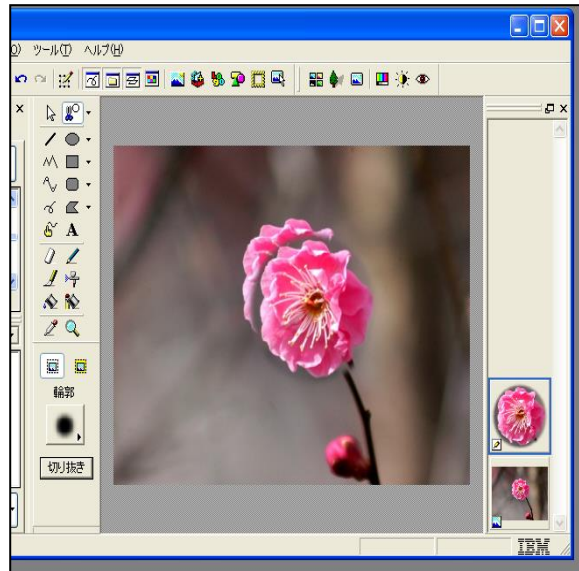
素材の準備 写真を 300~400 ピクセルに縮小し「マイピクチャー」に準備します。

ホームページビルダーを起動します

①「ツール」→「ウェブアートデザイナーの起動」 無題のキャンバスが立ち上がります。

②「ファイル」→「キャンバスを開く」又はアイコンから「キャンバスを開く」又は「ホルダーから」開く 3つの方法があります。自分のやり方を決めておきましょう。

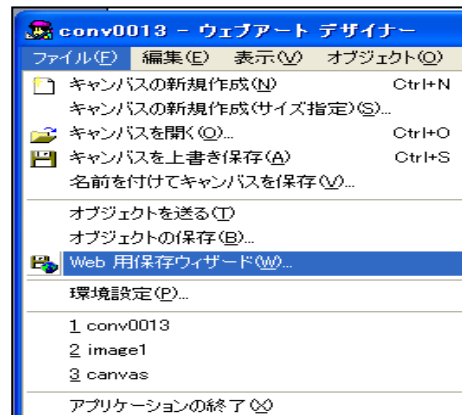
③挿入した写真の円形切取り。(右図)
「切り取りの選択」から「楕円形で切り抜き」をクリック→必要な部分をドラックして



「切り抜き」ボタンをクリック

* 「輪郭のぼかし」を設定すれば、切り口のぼかしが出来る。

④切り抜いた写真(素材)をマイピクチャーに別名で保存します。「保存の方法」。「ファイル」→「Web 用保存ウィザード」→「選択されたオブジェクトを保存する」→「OK」→「HIF または JPEG」→「OK」→「ファイルに保存」→「マイピクチャー」→「保存」



* マイピクチャーへの保存を確認する



ここ迄が準備です この素材は外のも使えるから大事に保存して下さい。
保存する場所は「マイピクチャー」又は、その中に専用ホルダー作ること。

ここからが本番です

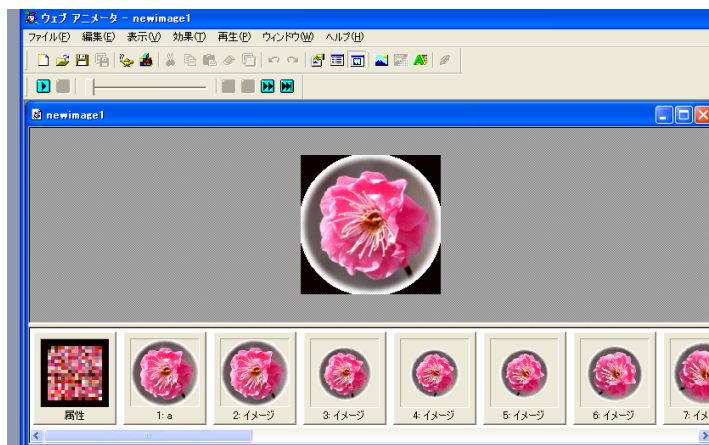
画像の回転

① 「スタート」 → 「ページを作成する」 →

「通常ページ」 → 「白紙から」 →

「何処でも配置モード」 白紙ページが開きます。(挿入を既存のページでもよい)

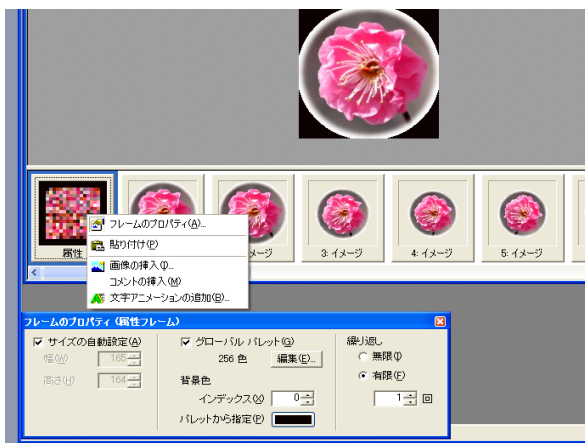
② 「ツール」 → 「ウェブアニメーターの起動」 → 「アニメーションウィザード」 → 「1枚の画像からアニメーションを作成」 → 「次へ」 → 「参照」 → (準備した) 回転したい素材を選択 → 「次へ」 → 「効果の設定」で回転方向を選択する「時間」は1~5秒 時間が大きくなれば回転がスローになる「作成するフレーム数」は20



枚このままでよい → 「効果のプレビュー」は1回転だけプレビューする(下図) → 「OK」 → 「完了」

* ここで確認する

「属性」を選択 → 「右クリック」 → 「フレームのプロパティ」 → 「繰り返し」のどちらかを選択する



保存の方法

① 「ファイル」 → 「送る」 → 「パーソナルフォルダへ」

② 「ファイル」 → 「送る」 → 「ホームページビルダーへ」 → ページに挿入された。

* 保存する時は拡張子を「Gif ファイル」にすること。